

2020年10月19日 全7頁

Indicators Update

2020年9月貿易統計

輸出は5月を底に回復基調が続く。米国向けが好調

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎

[要約]

- 2020年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲4.9%とコンセンサス(同▲2.4%)を下回ったものの、同年2月以来の一桁のマイナスとなった。季節調整値は前月比+4.5%と4ヶ月連続で増加した。世界各国での経済活動の再開による財消費の回復を受け、輸出は5月を底に回復基調が継続している。
- 輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比+3.0%と4ヶ月連続で増加した。地域別に見ると、米国向け(同+7.8%)は増加したものの、EU向け(同▲0.2%)、アジア向け(同▲0.2%)は僅かに減少した。
- 輸出数量は回復基調が継続するとみている。ただし回復ペースは鈍化するだろう。5月から足元までの急回復は、世界各国で経済活動の再開が進んだことが主因であり、その中には、ロックダウン緩和後の需要急増による在庫減を補うためのペントアップディマンドが含まれている。こうした需要は既に剥落しつつあり、今後は緩やかな増加にとどまる公算が大きい。

図表1：貿易統計の概況

		2020年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2	▲14.8	▲4.9
	コンセンサス									▲2.4
	DIRエコノミスト予想									▲0.9
	輸入金額	▲3.6	▲13.9	▲5.0	▲7.1	▲26.1	▲14.4	▲22.3	▲20.8	▲17.2
	輸出数量	▲1.6	▲2.4	▲11.2	▲21.3	▲27.3	▲26.9	▲21.9	▲14.9	▲7.7
	価格	▲1.0	1.4	▲0.6	▲0.7	▲1.4	1.0	3.5	0.1	3.0
	輸入数量	▲1.7	▲17.3	▲2.5	1.5	▲14.6	▲0.8	▲14.0	▲11.6	▲8.4
価格	▲1.9	4.2	▲2.6	▲8.4	▲13.5	▲13.7	▲9.6	▲10.4	▲9.6	
	貿易収支(億円)	▲13,151	11,066	72	▲9,312	▲8,413	▲2,729	71	2,486	6,750
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲3.1	3.4	▲3.8	▲11.3	▲4.8	1.2	6.0	4.7	4.5
	数量	▲6.1	3.2	▲5.5	▲15.1	▲9.4	4.5	6.3	11.2	3.0
	価格	3.1	0.2	1.8	4.5	5.1	▲3.1	▲0.3	▲5.8	1.5
	輸入金額	▲2.2	▲7.4	6.7	0.4	▲11.2	▲1.2	▲2.8	0.1	2.5
	数量	▲0.3	▲14.0	11.9	7.9	▲10.1	0.0	▲2.7	▲0.0	0.5
	価格	▲1.9	7.6	▲4.7	▲6.9	▲1.3	▲1.2	▲0.1	0.1	2.0
		貿易収支(億円)	▲2,538	4,059	▲2,086	▲8,987	▲4,624	▲3,398	1,104	3,572
	税関長公示レート	109.30	109.50	107.96	108.56	107.17	107.78	107.23	106.19	105.96

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

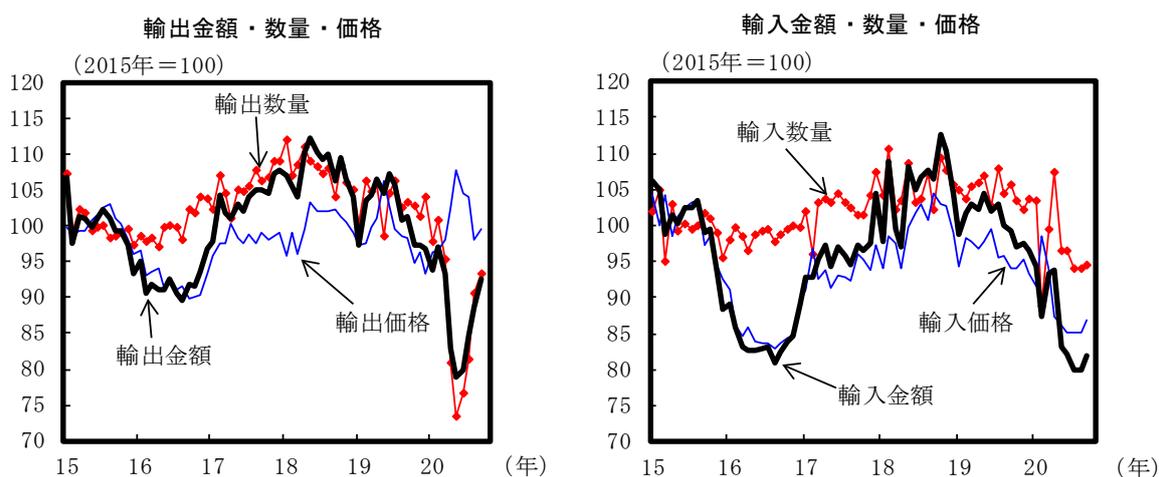
【貿易金額】前年比のマイナス幅が2020年2月以来の一桁に

2020年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲4.9%とコンセンサス（同▲2.4%）を下回ったものの、同年2月以来の一桁のマイナスとなった。季節調整値では前月比+4.5%と4ヶ月連続で増加した。世界各国での経済活動の再開による財消費の回復を受け、輸出は5月を底に回復基調が継続している。

他方、輸入金額は前年比▲17.2%と2桁のマイナスが続いている。季節調整値では前月比+2.5%と2ヶ月連続で回復したものの、5~7月の急減からの戻りは鈍い。輸入はエネルギー関連を中心に緊急事態宣言の全面解除後も低迷している。

貿易収支は6,750億円と大幅な黒字となった。季節調整値も3ヶ月連続で黒字となり、7-9月期は9,434億円と4-6月期の赤字（▲17,009億円）から転じて大幅な黒字となった。7-9月期GDPの外需は大幅なプラス寄与となる公算が大きい。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】米国向け輸出が全体をけん引

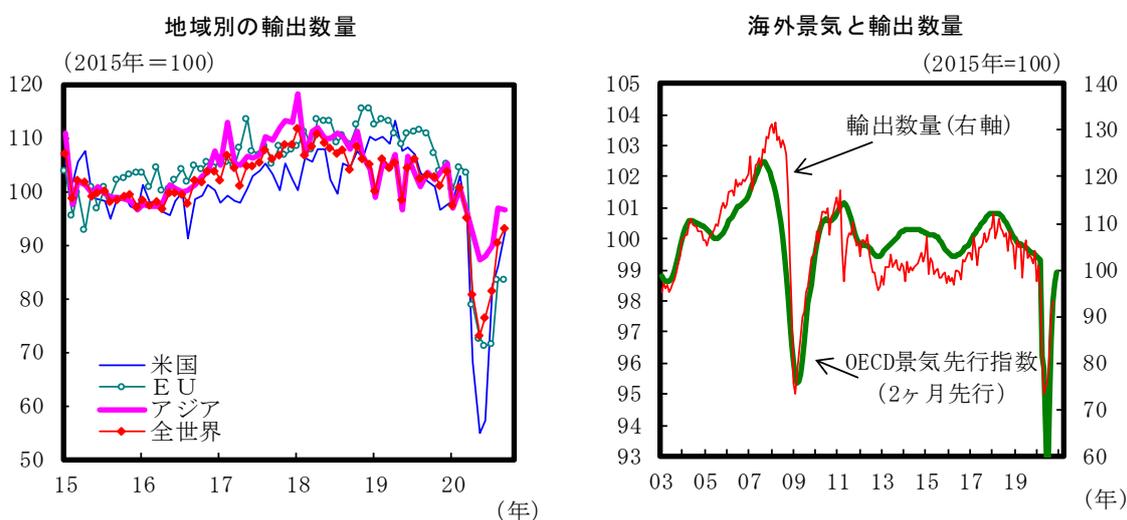
9月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+3.0%と4ヶ月連続で増加した。地域別に見ると、米国向け（同+7.8%）は増加したものの、EU向け（同▲0.2%）、アジア向け（同▲0.2%）は僅かに減少した。

地域別・品目別に見ると、米国向けでは自動車が増加した他、原動機、電算機類の部分品も増加した。米国向けの自動車輸出はコロナショック前（20年2月）を上回った。また、原動機や自動車の部分品なども回復基調を維持している。

他方、EU向けでは自動車が増加したものの、半導体等製造装置などが押し下げた。半導体等製造装置は8月に大幅に増加しており、その反動とみられる。水準で見ると、おおむね7月と同程度であるが2月対比で1割ほど下回る。EU向けの自動車輸出も米国同様に回復基調が続いており、2月の水準まで回復した。

アジア向けは半導体等電子部品が増加したが、これまで全体を大きく押し上げていた中国向けの鉄鋼や非鉄金属は減少した。中国向けの鉄鋼や非鉄金属などの中間財輸出は単月では減少したものの高水準にある。また、中国向けの半導体等電子部品の輸出は6月以降、緩やかな増加基調にある。中国以外のアジア向け輸出については回復ペースが鈍く、とりわけ電算機類（電子計算機）などの一般機械が冴えない。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】回復基調は継続するが、増加ペースは鈍化する見込み

先行きの輸出数量は回復基調が継続するとみている。ただし回復ペースは鈍化するだろう。5月から足元までの急回復は、世界各国で経済活動の再開が進んだことが主因であり、その中には、ロックダウン解除後の需要急増による在庫減を補うためのペントアップディマンドが含まれている。こうした需要は既に剥落しつつあり、今後は緩やかな増加にとどまる公算が大きい。

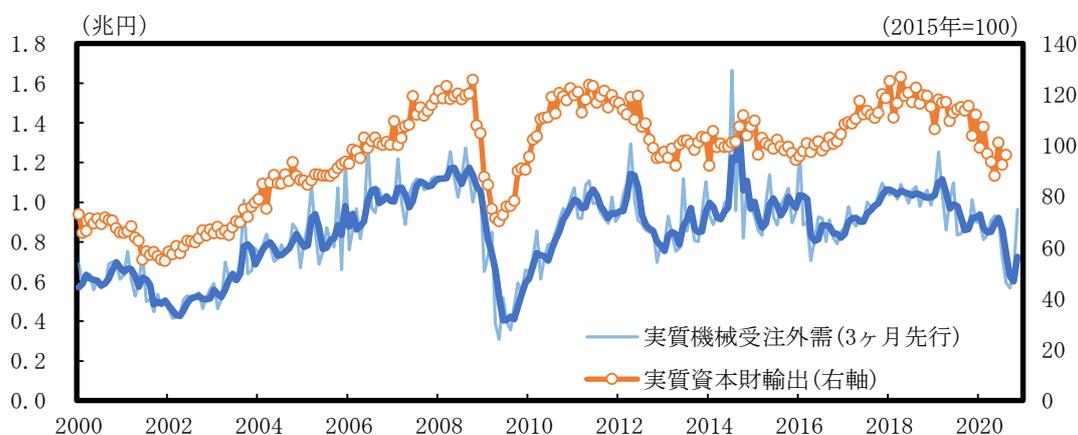
地域別に見ると、米国向けでは耐久消費財を中心に輸出の増加が回復基調を下支えするとみている。米国の小売売上高を見ると、財消費は既にコロナショック前の水準に回復している。伸びは鈍化しているものの、経済活動が再開していく中で、緩やかな増加基調を維持するとみている。

中国向け輸出は中間財を中心に堅調に推移するだろう。中国の鉱工業生産指数や固定資産投資などの前年比伸び率はV字回復し、7月以降も伸び率は高まっている。今後も地方政府特別債券などを原資にインフラ投資が全体をけん引する公算が大きい。中国向け輸出は中間財（鉄鋼や非鉄金属など）の割合が高く、中国の生産や投資の回復による輸出増が期待できる。

他方、欧州向けは回復が鈍化するとみている。フランスや英国などでは新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、新規感染者数が足元で急増している。感染拡大を抑制するため、各国では行動制限を設けるなど、欧州経済が二番底に向かう懸念が高まっている。財消費の回復が鈍れば、5月以降回復基調にあった同地域向け輸出も一服する可能性がある。

欧米向けの資本財輸出は、各国の工場稼働率の低迷から回復が相当に遅れるとみていたが、機械受注統計¹などから確認すると短期的には持ち直しの可能性がある。機械受注の外需は資本財輸出に対して、3ヶ月ほど先行性を持つ（**図表4**）。7月の外需は前月比+13.8%、8月は同+49.6%と2ヶ月連続で大幅に増加した。とはいえ欧米の工場稼働率は依然低水準にあり、本格的な回復には時間を要するとみられ、受注増による回復は一時的なものにとどまる公算が大きい。

図表4：機械受注の外需と資本財輸出



(注1) 機械受注の太線は3ヶ月移動平均。

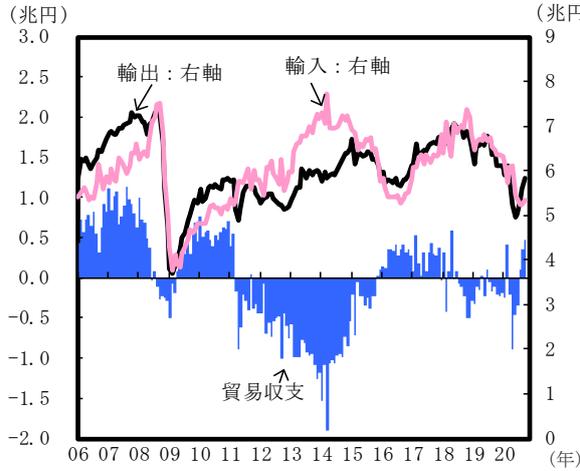
(注2) 機械受注は企業物価指数(はん用・生産用・業務用機器)で実質化、季節調整値。

(出所) 内閣府、日本銀行統計より大和総研作成

¹ 詳細は小林若葉「[2020年8月機械受注](#)」(2020年10月12日、大和総研レポート)

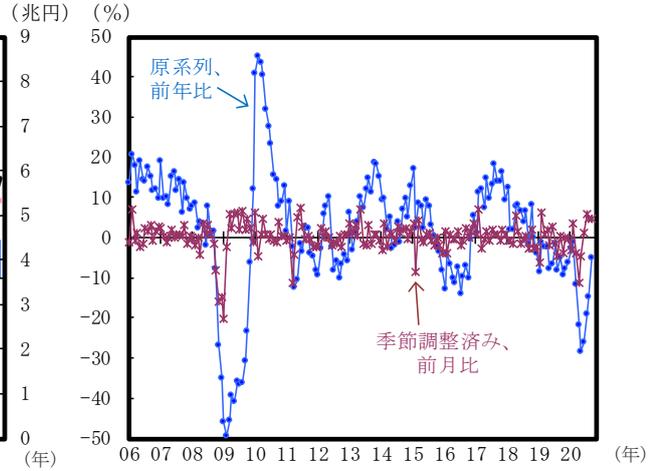
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

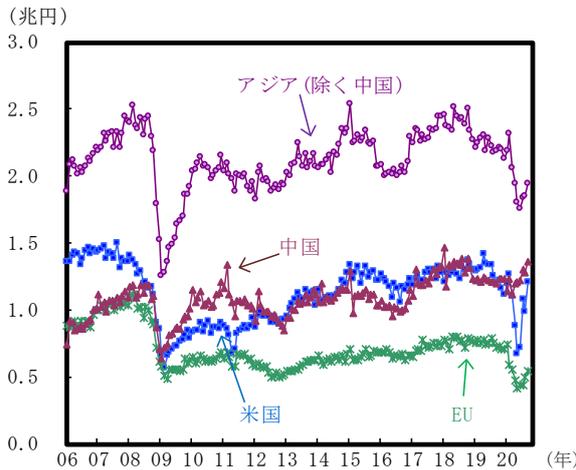


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

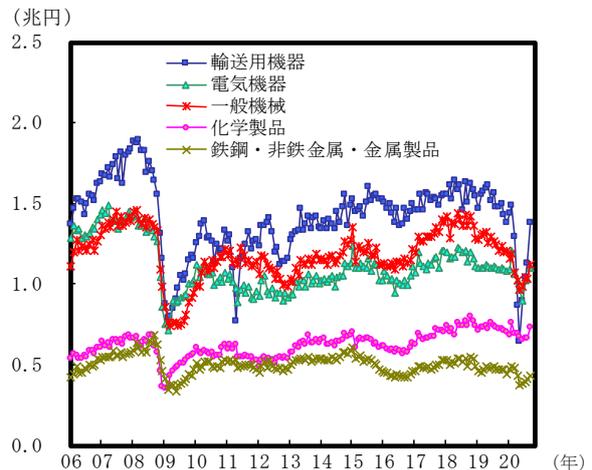


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

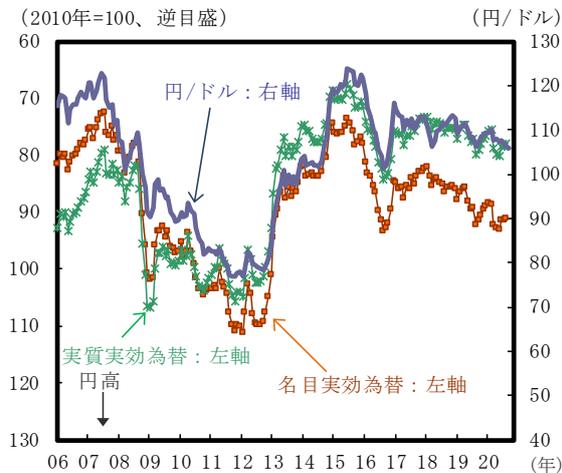


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

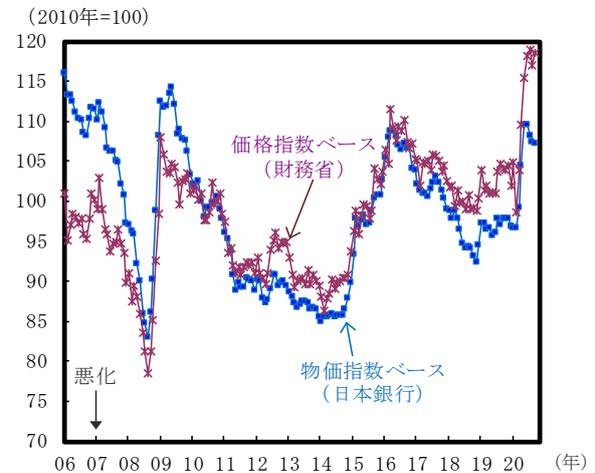


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2	▲14.8	▲4.9	100.0	▲4.9
食料品	▲9.0	6.6	▲3.2	4.7	13.1	15.7	1.1	0.1
原料品	▲17.1	▲32.6	▲20.0	▲7.0	▲6.4	5.7	1.4	0.1
鉱物性燃料	▲40.0	▲72.6	▲53.4	▲70.4	▲68.8	▲60.6	0.8	▲1.1
化学製品	▲6.3	▲7.0	▲14.2	▲10.7	▲8.2	1.7	11.9	0.2
原料別製品	▲14.5	▲23.8	▲25.5	▲22.0	▲14.1	▲11.3	10.2	▲1.2
鉄鋼	▲9.9	▲27.6	▲26.6	▲32.0	▲27.4	▲29.1	3.1	▲1.2
非鉄金属	▲4.2	▲5.9	3.2	17.2	30.2	41.2	2.7	0.8
金属製品	▲22.2	▲26.8	▲35.4	▲28.1	▲21.7	▲12.0	1.4	▲0.2
一般機械	▲23.2	▲23.2	▲24.5	▲17.7	▲16.8	▲7.8	18.0	▲1.4
電気機器	▲8.8	▲13.7	▲18.5	▲7.8	▲5.5	1.0	19.2	0.2
半導体等電子部品	4.3	▲1.5	▲7.8	▲0.6	▲0.4	3.3	6.2	0.2
I C	4.3	▲6.4	▲8.3	▲2.5	▲2.8	0.7	4.4	0.0
映像機器	▲43.0	▲51.2	▲45.0	▲19.5	▲28.7			
映像記録・再生機器	▲43.1	▲49.0	▲45.5	▲20.2	▲29.0	▲7.8	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲31.2	▲21.0	▲60.3	▲49.8	▲8.9	1.7	0.3	0.0
電気回路等の機器	▲8.7	▲17.9	▲22.0	▲15.4	▲13.6	▲2.2	2.6	▲0.1
輸送用機器	▲45.5	▲60.2	▲41.1	▲32.9	▲23.2	▲7.2	23.0	▲1.7
自動車	▲50.6	▲64.1	▲49.9	▲30.0	▲19.4	▲0.5	16.2	▲0.1
自動車の部分品	▲39.2	▲57.2	▲52.3	▲32.5	▲21.0	▲7.7	4.5	▲0.4
その他	▲12.7	▲14.4	▲22.6	▲11.4	▲11.7	▲0.1	14.5	▲0.0
科学光学機器	▲13.1	▲14.8	▲13.4	▲6.6	▲17.6	▲6.9	2.8	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲37.8	▲50.6	▲46.6	▲19.5	▲21.3	0.7	100.0	0.7
食料品	▲21.5	▲33.2	▲35.6	▲12.5	▲5.8	10.9	0.8	0.1
原料品	26.0	▲21.5	▲26.5	11.4	3.5	7.7	0.6	0.0
鉱物性燃料	▲55.0	▲70.0	▲28.3	▲58.8	▲89.7	▲90.6	0.1	▲0.5
化学製品	▲6.1	9.8	▲20.3	▲21.8	▲39.3	▲1.6	6.6	▲0.1
原料別製品	▲20.7	▲36.9	▲44.3	▲36.7	▲27.5	▲18.5	5.3	▲1.2
鉄鋼	▲28.5	▲22.4	▲51.8	▲38.2	▲44.4	▲34.0	0.9	▲0.5
非鉄金属	▲27.2	▲27.6	▲18.3	▲46.9	▲43.0	▲40.2	0.5	▲0.4
金属製品	▲21.9	▲45.9	▲53.8	▲33.5	▲17.7	▲11.0	1.4	▲0.2
一般機械	▲27.6	▲40.9	▲45.5	▲30.2	▲34.8	▲19.4	18.7	▲4.5
電気機器	▲22.1	▲42.2	▲37.7	▲16.5	▲12.5	1.8	14.3	0.3
半導体等電子部品	▲26.3	▲35.4	▲40.5	▲21.7	▲15.6	▲4.8	1.4	▲0.1
I C	▲31.0	▲48.3	▲45.9	▲25.6	▲20.2	▲5.0	0.6	▲0.0
映像機器	▲37.5	▲58.8	▲44.5	▲12.5	▲31.9			
映像記録・再生機器	▲40.2	▲57.9	▲49.8	▲23.4	▲33.8	▲7.6	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲35.3	▲63.2	▲90.5	▲83.9	▲46.7	▲27.2	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲20.0	▲41.2	▲37.4	▲20.6	▲18.6	4.1	1.5	0.1
輸送用機器	▲62.7	▲76.4	▲60.4	▲10.5	▲8.6	12.2	40.0	4.4
自動車	▲65.8	▲78.9	▲63.3	▲6.7	▲3.5	19.1	31.8	5.1
自動車の部分品	▲40.9	▲73.2	▲58.3	▲19.6	▲18.3	▲1.1	5.5	▲0.1
その他	▲20.3	▲40.3	▲35.0	▲16.9	▲17.5	20.1	13.6	2.3
科学光学機器	▲33.1	▲27.2	▲13.8	▲11.8	▲26.0	▲10.8	2.2	▲0.3

EU・英国向け輸出金額 内訳								
	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲39.4	▲43.8	▲41.4	▲44.0	▲32.8	▲24.0	100.0	▲24.0
食料品	▲39.8	▲38.8	▲42.8	▲25.2	▲8.4	▲9.3	0.5	▲0.0
原料品	▲26.3	▲67.7	▲45.0	▲39.9	▲39.9	▲14.7	0.9	▲0.1
鉱物性燃料	12.9	▲94.0	▲76.8	▲95.8	▲4.1	▲91.8	0.1	▲0.5
化学製品	▲6.5	▲0.7	▲16.4	▲10.3	▲14.7	▲12.8	11.8	▲1.3
原料別製品	▲31.1	▲36.4	▲39.0	▲35.5	▲35.5	▲32.4	5.4	▲2.0
鉄鋼	12.3	▲15.1	1.7	▲32.2	▲37.7	▲47.1	0.6	▲0.4
非鉄金属	▲28.9	▲23.9	▲37.8	▲25.2	▲45.4	▲52.0	0.5	▲0.4
金属製品	▲44.5	▲46.2	▲46.6	▲35.9	▲42.8	▲25.3	1.4	▲0.4
一般機械	▲38.2	▲47.7	▲43.4	▲43.1	▲34.2	▲26.5	20.4	▲5.6
電気機器	▲38.0	▲34.4	▲39.1	▲29.5	▲20.4	▲16.4	18.6	▲2.8
半導体等電子部品	▲29.4	▲30.5	▲25.9	▲25.4	▲15.5	▲9.8	2.4	▲0.2
I C	▲37.5	▲39.8	▲21.2	▲29.6	▲19.6	▲9.3	1.1	▲0.1
映像機器	▲62.7	▲68.1	▲57.4	▲31.0	▲37.3			
映像記録・再生機器	▲58.1	▲68.0	▲51.5	▲18.7	▲36.0	2.4	0.8	0.0
音響・映像機器の部分品	▲0.6	▲38.0	▲52.3	▲47.0	▲7.0	▲17.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲31.2	▲39.8	▲41.0	▲40.3	▲36.3	▲24.0	1.5	▲0.4
輸送用機器	▲59.0	▲63.9	▲51.2	▲58.6	▲36.6	▲20.5	28.7	▲5.6
自動車	▲63.4	▲58.7	▲47.7	▲59.9	▲41.3	▲20.2	19.2	▲3.7
自動車の部分品	▲53.3	▲77.0	▲71.7	▲52.1	▲17.8	▲14.0	7.1	▲0.9
その他	▲35.6	▲38.5	▲40.0	▲49.7	▲46.6	▲36.8	13.6	▲6.0
科学光学機器	▲35.3	▲25.2	▲22.5	▲25.7	▲22.1	▲14.9	3.7	▲0.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.3	▲12.0	▲15.3	▲8.2	▲7.8	▲2.0	100.0	▲2.0
食料品	▲2.6	18.8	8.8	14.8	17.2	18.4	1.5	0.2
原料品	▲20.8	▲27.9	▲17.1	▲3.8	▲3.2	7.4	2.0	0.1
鉱物性燃料	▲30.9	▲59.3	▲2.2	▲57.3	▲52.7	▲34.6	1.0	▲0.5
化学製品	▲9.2	▲12.1	▲16.3	▲10.3	▲5.3	0.9	15.5	0.1
原料別製品	▲12.2	▲20.2	▲22.0	▲16.8	▲10.7	▲6.3	13.2	▲0.9
鉄鋼	▲13.1	▲30.7	▲28.2	▲29.5	▲27.5	▲26.8	4.2	▲1.5
非鉄金属	1.6	▲3.5	3.8	19.4	33.7	54.4	4.3	1.5
金属製品	▲17.0	▲15.5	▲27.2	▲24.2	▲18.6	▲11.8	1.5	▲0.2
一般機械	▲18.6	▲7.2	▲10.4	▲5.7	▲6.0	0.1	18.8	0.0
電気機器	1.4	▲1.5	▲9.6	▲2.2	▲2.3	2.8	24.2	0.7
半導体等電子部品	8.3	2.0	▲4.6	1.7	1.0	4.2	10.2	0.4
IC	7.2	▲3.8	▲6.2	▲0.9	▲1.8	1.1	7.5	0.1
映像機器	▲40.0	▲33.2	▲43.1	▲21.6	▲22.2			
映像記録・再生機器	▲35.7	▲26.6	▲40.4	▲18.0	▲24.7	▲15.8	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲32.3	▲7.6	▲40.0	▲34.3	▲2.3	4.3	0.4	0.0
電気回路等の機器	▲3.8	▲9.6	▲15.7	▲9.7	▲10.1	▲0.6	3.6	▲0.0
輸送用機器	▲32.1	▲38.3	▲28.1	▲18.8	▲19.1	▲12.6	8.7	▲1.2
自動車	▲30.2	▲42.7	▲19.2	▲16.1	▲9.6	▲3.9	4.9	▲0.2
自動車の部分品	▲28.8	▲35.5	▲43.1	▲32.6	▲25.5	▲15.2	3.1	▲0.5
その他	▲4.6	▲2.8	▲16.0	▲1.3	▲9.6	▲3.5	15.2	▲0.5
科学光学機器	▲2.1	▲10.1	▲10.6	▲1.8	▲15.5	▲5.8	3.3	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.0	▲1.9	▲0.2	8.2	5.1	14.0	100.0	14.0
食料品	18.9	41.0	17.7	▲8.1	▲1.6	14.9	0.9	0.1
原料品	▲39.8	▲44.0	▲36.2	19.3	15.0	11.2	1.4	0.2
鉱物性燃料	▲24.4	▲30.4	72.0	▲57.7	▲58.4	▲14.1	0.6	▲0.1
化学製品	▲7.5	▲2.3	▲0.6	0.8	2.5	4.3	15.8	0.7
原料別製品	▲5.6	2.2	15.6	14.0	23.2	30.4	12.7	3.4
鉄鋼	▲9.2	▲12.5	16.4	9.9	18.3	14.3	3.4	0.5
非鉄金属	13.1	41.4	72.0	72.4	81.4	101.6	4.9	2.8
金属製品	▲12.6	1.1	▲7.4	▲9.4	▲1.5	0.8	1.6	0.0
一般機械	▲11.6	▲3.6	▲3.3	8.9	6.0	20.7	21.8	4.3
電気機器	10.3	8.5	▲0.8	12.2	5.6	4.4	20.6	1.0
半導体等電子部品	29.4	5.6	▲0.3	18.3	10.0	▲14.5	5.8	▲1.1
IC	40.2	4.1	▲1.1	22.7	9.0	▲28.8	3.5	▲1.6
映像機器	▲33.1	▲16.1	▲28.0	▲11.8	▲20.0			
映像記録・再生機器	▲21.6	▲1.2	▲13.1	▲1.5	▲28.0	▲19.2	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲21.2	19.2	▲37.0	▲41.1	20.9	19.2	0.6	0.1
電気回路等の機器	0.8	3.1	▲0.0	5.1	▲3.2	10.0	3.7	0.4
輸送用機器	▲13.7	▲16.4	7.1	17.9	18.7	23.5	11.5	2.5
自動車	▲10.0	▲20.8	18.8	19.0	29.0	33.6	6.8	2.0
自動車の部分品	▲18.5	▲11.2	▲7.1	16.2	7.8	8.8	4.4	0.4
その他	7.5	0.5	▲10.8	4.8	▲8.7	13.3	14.8	2.0
科学光学機器	3.9	▲8.8	▲17.4	▲0.9	▲17.5	▲5.6	4.5	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成